

島根県環境基本計画 重点プロジェクト進行管理(目標及び平成21年度実績)

進行管理項目	目 標		実 績				担当課	
	年度	目 標 の 内 容	年度	実 績		達成状況		達成状況の要因・今後の取組等
				事業量	事業実績 (千円)			

1 きよらかな水環境保全プロジェクト

1	水質に関する環境基準項目の達成率 人の健康の保護に関する環境基準(健康項目)	H22	100%	H21	100%	969	◎	目標を達成している。 今後も監視を継続していく。	環境政策課
2	水質に関する環境基準項目の達成率 生活環境の保全に関する環境基準(生活環境項目:河川)	H22	95%	H21	90.5%	2,995	○	今後も監視を継続していく。	環境政策課
3	水質に関する環境基準項目の達成率 生活環境の保全に関する環境基準(生活環境項目:海域)	H22	90%	H21	100%	5,040	◎	目標を達成している。 今後も監視を継続していく。	環境政策課
4	ホームページ「水環境情報ステーション」サイトの開設	H22	サイトを開設	H21	開設済	0	◎	平成17年度に開設し公開済み。目標を達成している。	環境政策課
5	宍道湖・中海におけるCODの生活系負荷の削減	H22	平成8年度比5割程度を削減	H21	3,416Kg/日→1,649.9Kg/日(H20) 約52%削減	0	◎	目標を達成している。	環境政策課
6	宍道湖・中海に流入する河川流域の小中学生による河川調査参加校数	H22	50校	H21	49校	987	○	事前説明会を開催し、参加校の増加を図っていく	環境政策課
7	汚水処理人口普及率	H22	72%	H21	70.4%	0	○	・年次計画目標を達成 ・地域の特性に応じた効率的な整備促進 ・整備の遅れている地域の事業促進	下水道推進課
8	河川工事における多自然型川づくり	H22	多自然型川づくりを推進	H21	1127m	254,400	○	引き続き多自然川づくりを推進していく。	河川課

2 安全・安心確保に向けた化学物質の管理推進プロジェクト

9	アスベストに関する相談体制	H18～	総合相談窓口を開設するなど相談体制を強化	H21	フリーダイヤルの相談窓口の継続	0	◎	今年度も引き続いてフリーダイヤルによる相談業務を実施していく。	環境政策課
10	アスベスト対策の周知・情報提供	H18～	広報啓発活動や研修会などを通じ情報を提供	H21	ホームページ等による救済制度周知、啓発	0	◎	引き続き啓発活動等を実施する。	環境政策課
11	ダイオキシン類に係る環境基準達成率	H22	100%	H21	100%	7,058	◎	目標を達成している。	廃棄物対策課
12	市町村のごみ焼却施設数	H22	12施設 (広域化を進めH16年度から1施設減らす)	H21	13施設	1,942	○	H19年度に着工、H22年度に完成予定。その後2施設廃止予定。	廃棄物対策課
13	市町村のごみ焼却施設から発生するダイオキシン類の排出削減割合	H22	H15年度比3割以上を削減	H21	8割削減	0	◎	順調に削減されている。	廃棄物対策課
14	馬潟工業団地周辺水路におけるダイオキシン類に汚染された底質の除去	H19	除去を完了	H21	・対策工法の検討 ・対策事業に係る費用負担計画の策定	14,059	○	H21年度に検討した対策工法及び費用負担計画に基づいてH22年度に対策工事を実施する。	廃棄物対策課

島根県環境基本計画 重点プロジェクト進行管理(目標及び平成21年度実績)

進行管理項目		目 標		実 績				担当課	
		年度	目 標 の 内 容	年度	実 績		達成状況		達成状況の要因・今後の取組等
					事業量	事業実績 (千円)			
15	PRTR制度の普及啓発	H18～	対象事業者からの確実な届出提出を実現	H21	305件(届出処理件数)	0	◎	引き続き制度の普及啓発を実施していく。	廃棄物対策課
16	PRTRデータの活用の推進	H18～	事業者、県民、行政が相互理解を図るための場づくりを推進	H21	2回(化学物質取扱事業者向けの説明会開催数)	56	◎	実施方法を見直し、効果的な活用策を探る。	廃棄物対策課

3 環境への負荷の少ない持続的に発展する「しまね循環型社会」推進プロジェクト

17	一般廃棄物の処理(排出量)	H22	H11年度(258千トン)比5%以上を削減(目標245千トン)	H21	242千トン(H20実績)	830	◎	引き続き減量化を働きかけていく。	廃棄物対策課
18	一般廃棄物の処理(再生利用率)	H22	28%以上 (サーマルリサイクル量を考慮する場合は32%以上)	H21	21.8%(H20実績)		○	引き続き再生利用を働きかけていく。	廃棄物対策課
19	一般廃棄物の処理(最終処分量)	H22	H11年度(55千トン)比51%以上削減(目標27千トン)	H21	39千トン(H20実績)		○	引き続き最終処分量の削減を働きかけていく。	廃棄物対策課
20	産業廃棄物(農業以外)の処理(排出量)	H22	H11年度(1,622千トン)と同等以下	H21	1,612千トン(H20実績)	830	○	引き続き減量化を働きかけていく。	廃棄物対策課
21	産業廃棄物(農業以外)の処理(再生利用率)	H22	64%以上	H21	60.2%(H20実績)		○	引き続き再生利用を働きかけていく。	廃棄物対策課
22	産業廃棄物(農業以外)の処理(最終処分量)	H22	H11年度(441千トン)比52%以上削減(目標212千トン)	H21	411千トン(H20実績)		○	引き続き最終処分量の削減を働きかけていく。	廃棄物対策課
23	産業廃棄物(農業)の処理(家畜ふん尿再生利用率)	H22	100%	H21	99%	609	○	引き続き家畜糞尿利用率向上に向けて働きかけていく。	農畜産振興課
24	産業廃棄物(農業)の処理(廃プラスチック類の再生利用率)	H22	80%	H21	94.0%	62	◎	引き続きリサイクル率向上に向けて働きかけていく。	農畜産振興課
25	県民の循環型社会に関する関心度	H22	100%	H21	95.1%(H20実績)	4,644	○	今後ともごみ減量化や再生利用等を推進するため啓発を進めていく。	廃棄物対策課
26	エコショップ認定店舗数	H22	300店舗	H21	累計264店舗		○	今後ともごみ減量化や再生利用等を推進するため働きかけていく。	廃棄物対策課
27	グリーン製品認定製品数	H22	120品目	H21	115品目	6,073	○	引き続きリサイクル製品の普及、販売促進を働きかけていく。	環境政策課

島根県環境基本計画 重点プロジェクト進行管理(目標及び平成21年度実績)

進行管理項目	目 標		実 績				担当課	
	年度	目 標 の 内 容	年度	実 績		達成状況		達成状況の要因・今後の取組等
				事業量	事業実績 (千円)			
28 公共関与による産業廃棄物最終処分場の管理型容量の確保	H22	75.3万m3	H21	75.3万m3(H19完了)	0	◎	H19年11月工事完了、供用開始。	廃棄物対策課

4 循環型社会を構築する環境関連産業振興プロジェクト

29 資源循環型技術開発補助金により支援する研究開発件数	H19	累計9件	H21	累計7件 (H21補助採択2件)	17,831	×	目標件数には届いてないが、今後も優良な案件については本事業による支援を行っていくとともに、産業技術センター等で資源循環に係る基礎研究を行い企業における実証研究の支援を行う。	産業振興課
30 環境・エネルギー産業の企業誘致	H18～	誘致活動の重点分野の一つとする	H21	1社	0	◎	太陽光発電の部品製造を行う事業所1社の立地計画を認定した。 引き続き、環境・省エネルギーに配慮した企業誘致を推進する。	企業立地課

5 自然と共生する島根ふれあい四季空間創造プロジェクト

31 三瓶自然館、宍道湖自然館、しまね海洋館の入場者数	H19	70万人	H21	・三瓶自然館入場者数 206,208人	304,500	◎	・3回の企画展や関連イベント、広報営業活動に精力的に取り組み利用者の増加に努めた。	自然環境課
			H21	・しまね海洋館入場者数 458,619人	193,000		平成21年度目標430,000人を達成した。 今後もさらなる魅力向上により、入場者数の維持に努めていく。	地域政策課
			H21	・宍道湖自然館入場者数 114,042人	103,100		経年により入館者は減少している。	水産課
32 自然観察モデルコースの選定	H22	20か所	H21	通算16箇所(H21選定0箇所)	0	△	実績は0だが、選定されたコースの案内を行うガイド養成を強化することにより、モデルコースの有効活用に繋げていく。	自然環境課
33 みんなでつくる自然観察の森の選定	H22	新たに5か所	H21	通算2箇所(H21選定0箇所)	0	○	みんなで守る郷土の自然と合わせて年1箇所を選定することに変更し、取り組んでいる。(総合発展計画)	自然環境課
34 ボランティアを対象とした研修会の開催	H22	3回/年	H21	3回	215	○	今後も計画的に実施していく。	自然環境課
35 県立自然公園の公園計画	H22	公園計画を見直す	H21	なし	0	○	必要性に応じて順次見直しを行っていく。	自然環境課
36 県民1人あたりの公園面積(都市計画区域内)	H22	概ね20m2	H21	17.5㎡/人	1,395,550	○	引き続き都市公園の整備に取り組むと共に、利用者に安全・安心な公園施設を提供し、公園利用者の拡大を図っていく。	都市計画課

島根県環境基本計画 重点プロジェクト進行管理(目標及び平成21年度実績)

進行管理項目		目 標		実 績				担当課	
		年度	目 標 の 内 容	年度	実 績		達成状況		達成状況の要因・今後の取組等
					事業量	事業実績 (千円)			
37	自転車道の整備	H22	46.6Km	H21	H21 L=73m 累計 46.5km	205,830	○	概ね順調に進捗している。	道路維持課
38	鳥獣保護区の指定	H22	85か所	H21	81か所	256	△	県内の鳥獣被害区域が拡大しているため、既指定鳥獣保護区の更新が困難になりつつあるが、地域住民等との合意形成を図りながら、できるだけ指定数を維持したい。	森林整備課 (鳥獣対策室)
39	特別保護地区の指定	H22	12か所	H21	12か所		◎	現在の特別保護地区を引き続き指定し、指定数を維持したい。	森林整備課 (鳥獣対策室)
40	「みんなで守る郷土の自然地域」の選定	H22	55か所	H21	通算55箇所(H21選定1箇所)	393	◎	みんなでつくる自然観察の森と合わせて年1箇所を選定することに変更し、取り組んでいる。(総合発展計画)	自然環境課
41	絶滅危惧Ⅰ類から抽出する重点対策種18種の保護対策	H22	適正な保護対策を講じる	H21	13種	1,701	△	希少野生動植物の保護に関する条例を制定した。今後は条例に対応する。	自然環境課
42	ラムサール条約登録湿地の「賢明な利用」のための県民の交流や情報交換等の機会の回数	H18~	3回以上/年	H21	3回	969	◎		自然環境課
43	景観形成住民協定の認定件数	H22	70件	H21	61件	0	△	継続して市町村に対して働きかけを行う。	都市計画課 (景観政策室)
44	築地松保全協定数	H22	150件	H21	156件	4,254	◎	築地松が残存している地区では概ね住民協定が締結されている。	都市計画課 (景観政策室)
45	電線類地中化延長	H20	35km	H21	H21 L=795m 累計 31.3km	道路維持課 612,770 都市計画課 80,417	×	今後も関係予算を増額し、事業の促進を図っていく。	道路維持課 都市計画課
46	景観条例・景観形成基本計画の策定市町村数	H22	13市町村	H21	6市町	0	△	継続して市町村に対して働きかけを行う。	都市計画課 (景観政策室)

6 恵み豊かな森林・農地の保全と活用プロジェクト

47	間伐実施面積(10年間の総量)	H22	31,780ha	H21	H16~H21累計 35,278ha (H21実績 6,650ha見込み)	769,056	◎	順調に事業実施が図られ、目標を達成した。	森林整備課
48	松くい虫被害量	H22	20,000m ³	H21	20,136m ³	148,032	○	概ね順調に進捗している。	森林整備課
49	荒廃森林再生面積	H21	3,500ha	H21	3,562ha	181,246	◎	引き続き、荒廃森林の再生に取り組んでいく。	林業課

島根県環境基本計画 重点プロジェクト進行管理(目標及び平成21年度実績)

進行管理項目	目 標		実 績				担当課	
	年度	目 標 の 内 容	年度	実 績		達成状況		達成状況の要因・今後の取組等
				事業量	事業実績 (千円)			
50 地域環境保全型農業推進方針の策定市町村数	H22	21市町村(全市町村)	H21	16市町村		○	引き続き全市町村策定に向け推進を図る	農畜産振興課
51 建築材利用等における県産スギ・ヒノキ材の供給量	H22	159,000m3以上	H21	174,000m3	0	◎	引き続き、県産材の安定供給に取り組んでいく。	林業課

7 「地球を守る」しまね地球温暖化防止プロジェクト

52 二酸化炭素排出量の削減率	H22	H2年度比2%削減	H21 (H19)	13.4%増加(H19排出量)	163,353	△	最新のH19排出量は産業部門や家庭部門で増加している。県民や事業者が参加できる「しまねCO2ダイエット作戦」の展開や、グリーンニューディール基金を活用した設備更新などにより目標の達成を目指していく。	環境政策課
53 「エコライフチャレンジしまね」の参加者数	H22	10,000人	H21	6,999人	4,176	○	「しまね地球温暖化防止県民運動」の取り組みを推進し、目標達成に努めていく。	環境政策課
54 「ストップ温暖化宣言」の参加事業者数	H22	1,050社	H21	1,603社	5,400	◎	事業者の環境配慮型経営に対する意識の向上から、登録数が順調に増加し、目標を達成した。	環境政策課
55 地球温暖化対策地域協議会の設置市町村数	H22	21市町村(全市町村)	H21	10	2,960	○	地域協議会の設立や活動の活性化を図ることを目的とした助成事業を継続する。	環境政策課
56 主要交通渋滞ポイントの解消数	H19	3か所	H21	5か所 H18:3(玉湯、中吉田、須子) H19:2(商工会館前、渡橋中央)	0	◎	一般国道9号出雲バイパスの開通により出雲市内の2箇所の渋滞ポイントが解消した。	道路建設課
57 低公害車の保有率(軽自動車を除く)	H22	50%	H20	44.10%	0	○	平成19年度から5ポイント伸びており、目標の達成に向け、引き続き県民への普及啓発を行っている。	環境政策課
58 地域新エネルギー導入による二酸化炭素排出削減量	H22	149,000トン	H21	194,400トン	44,646	◎	大規模な風力発電施設の建設等により目標が達成できた。今後も太陽光発電やクリーンエネルギー自動車等の増加が見込まれる。	土資対策課 地エネスタッフ

8 みんなで取り組む島根の環境づくり推進プロジェクト

59 県内の小中高校・特殊教育学校における「学校版エコライフチャレンジしまね」への参加率	H22	100%	H21	57%	260	○	義務教育課・高校教育課等と連携し、目標達成を目指す。	環境政策課
60 こどもエコクラブの交流会開催数	H18～	2回以上/年	H21	2回	630	◎	目標を達成している。今後も引き続き開催していく。	環境政策課

島根県環境基本計画 重点プロジェクト進行管理(目標及び平成21年度実績)

進行管理項目	目 標		実 績				担当課	
	年度	目 標 の 内 容	年度	実 績		達成状況		達成状況の要因・今後の取組等
				事業量	事業実績 (千円)			
61 環境アドバイザー派遣数	H22	20回以上	H21	29回	285	◎	目標を達成している。今後も制度の普及に努めていく。	環境政策課
62 緑の少年団数	H22	90団	H21	99団	1,476	◎	今度とも団数の増となるよう取り組んでいく。	林業課
63 環境保全活動に関するNPO法人数	H22	100法人以上	H21	87法人		△	H21年度中に7法人の増。概ね順調に推移している。	NPO推進室
64 (財)しまね自然と環境財団と環境保全活動団体との交流会開催数	H18～	10回以上／年	H21	12回	3,618	◎	目標を達成している。今後も引き続き実施していく。	環境政策課
65 (財)しまね自然と環境財団と環境保全活動団体との共同企画事業数	H18～	1回以上／年	H21	6回	480	◎	目標を達成している。今後も引き続き実施していく。	環境政策課
66 地域の人・自然環境資源を活用した「しまね田舎ツーリズム」	H18～	推進する	H21	新規登録16団体	7,567	◎	取組は着実に広がっている。今後は、県内でのさらなる実践者の掘り起こしと、県内外へのPRを拡大し、一層の交流促進を図っていく。	地域政策課
67 島根、鳥取県民参加による宍道湖・中海一斉清掃の実施数	H18～	1回以上／年	H21	1回	468	◎	今後も関係自治体が連携して継続実施していく。	環境政策課

※「達成状況欄」凡例：◎は達成済み、○は目標年度までには達成する見込み、△は目標年度までに達成困難、×は目標年度までに達成できなかった